

QIP（Quality Indicator/Improvement Project）によるクリニカル・インジケーター（臨床指標）
2024年度

脳卒中

指標名
脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法あるいは一部の抗凝固療法を受けた症例の割合
脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合
脳梗塞の診断で入院し、血栓溶解療法あるいは血栓除去治療を受けた症例の割合
脳卒中症例に対する地域連携の実施割合
脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、抗血小板薬を処方された症例の割合
脳梗塞患者のスタチン処方割合
脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合
脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合
脳梗塞の診断で入院し、入院2日目あるいは3日目に初めてリハビリ治療を受けた症例の割合
くも膜下出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合
脳内出血の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合
脳梗塞の診断で入院し、抗痙攣薬を投与しない割合

呼吸器系

指標名
喘息入院患者における退院後30日間以内の同一施設再入院割合
院内肺炎症例の平均抗菌薬投与日数
院内肺炎症例の治癒軽快割合
肺血栓塞栓症リスク中以上の手術実施症例に対する予防策実施率（60歳以上）
肺血栓塞栓症リスク中以上の手術実施症例に対する予防策実施率（40～59歳）
リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率（厚労省）
リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率（厚労省 病院指標）

循環器系疾患 薬剤

指標名
急性心筋梗塞患者における当日アスピリン投与割合
急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合
急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合
アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率
急性心筋梗塞患者における抗血小板薬投与割合
急性心筋梗塞患者におけるスタチン投与割合

循環器系疾患

指標名
急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者に対する心臓リハビリ実施割合
急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合
急性心筋梗塞症例に対する地域連携の実施割合

消化器系

指標名
急性膵炎に対する 入院2日以内のCT実施割合
胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合
急性膵炎に対する 入院2日以内の造影CT実施割合
小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合

整形外科

指標名
大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率
大腿骨頸部骨折の早期手術割合
大腿骨転子部骨折の早期手術割合
大腿骨頸部骨折症例に対する地域連携の実施割合

乳がん

指標名
T1-2,N0M0乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

糖尿病

指標名
糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率

周産期系

指標名
帝王切開術における全身麻酔以外の割合
帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合
ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

化学療法

指標名
シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合
シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合（外来）
ストレプトゾシンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合
ストレプトゾシンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合（外来）
ダカルバジンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合
ダカルバジンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合（外来）
AC（ドキシルビシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合
AC（ドキシルビシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合（外来）
EC（エピルビシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合
EC（エピルビシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与割合（外来）

感染症

指標名
抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例の割合
市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例の割合
市中肺炎症例に対する、注射抗菌薬開始時の抗緑膿菌薬投与割合
血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合
血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合（生後28日未満）
血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合（生後28日以上2歳未満）
血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合（2歳以上6歳未満）
血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合（6歳以上）
血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合（外来）
抗MRSA薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合
カルバペネム・ニューキノロン・抗MRSA薬使用時の血液培養実施率
カルバペネム・ニューキノロン・抗MRSA薬使用までの培養検査実施率
経口第3世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合
経口カルバペネム処方数が経口抗菌薬全体に占める割合
外来における小児抗菌薬適正使用支援加算の全体数と実施割合
院内感染治療の耐性菌治療割合
関節置換術症例の院内感染治療の耐性菌治療割合
院内肺炎治療の耐性菌治療割合
広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率（厚労省）
広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率（厚労省 病院指標）

マネジメント

指標名
小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合
薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）
薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）（病棟薬剤業務実施加算の有る医療機関）
薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）（病棟薬剤業務実施加算の無い医療機関）
悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合
糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合
糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合
退院後6週間以内の救急医療入院率（退院症例集計）
DPC入院期間II以内の割合
DPC入院期間III超えの割合
悪性腫瘍（４種）手術症例における大量輸血の割合 2（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）
誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合
認知症を伴う症例に対する退院支援の割合
薬剤管理指導実施開始の平均日数
悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症の症例に対する退院支援の割合
薬剤管理指導入院3日以内実施割合（実施患者数ベース）
全入院患者に対する薬剤総合評価調整加算の算定割合
退院後7日以内の予定外再入院割合
療養病棟入院中の抗不安薬・睡眠薬処方割合（高齢者）
療養病棟入院中のベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬処方割合（高齢者）

退院後30日以内の予定外再入院割合
外来で糖尿病の治療管理をしている症例に対し、HbA1Cの検査を実施している割合
外来で糖尿病の治療管理をしている症例に対し、尿検査を実施している割合
外来の糖尿病性腎症に対しアンジオテンシン変換酵素阻害薬あるいはアンジオテンシンII受容体拮抗薬の処方割合
外来で脂質異常症の投薬治療管理をしている症例に対し、血液検査を実施している割合
転倒・転落発生率〔様式1 の入力値を使用する場合〕（厚労省）
転倒・転落発生率〔様式1 の入力値を使用する場合〕（厚労省 病院指標）
転倒・転落発生率〔様式 3 の入力値を使用する場合〕（厚労省）
転倒・転落発生率〔様式 3 の入力値を使用する場合〕（厚労省 病院指標）
転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b 以上の発生率〔様式1の入力値を使用する場合〕（厚労省）
転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b 以上の発生率〔様式1の入力値を使用する場合〕（厚労省 病院指標）
転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b 以上の発生率〔様式 3 の入力値を使用する場合〕（厚労省）
転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b 以上の発生率〔様式 3 の入力値を使用する場合〕（厚労省 病院指標）
手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率（厚労省）
手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率（厚労省 病院指標）
d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率〔様式1の入力値を使用する場合〕（厚労省）
d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率〔様式1の入力値を使用する場合〕（厚労省 病院指標）
d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率〔様式3の入力値を使用する場合〕（厚労省）
d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率〔様式3の入力値を使用する場合〕（厚労省 病院指標）
65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合（厚労省）
65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合（厚労省 病院指標）
身体的拘束の実施率（厚労省）
身体的拘束の実施率（厚労省 病院指標）

精神科

指標名
精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合
精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合
精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合
精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である割合
精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である割合
75歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合
75歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合
75歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合
外来で経口抗精神病薬を処方した症例の中、定型抗精神病薬を含めない割合
外来で睡眠薬を処方された75歳以上の症例の中で、ベンゾジアゼピン系またはバルビツール系睡眠薬が処方されていない割合
外来で睡眠薬の処方のある症例のうち、睡眠薬が単剤または2剤である割合